

第2回地域力・つながり部会

日 時 平成21年9月25日（金）午後6時30分

場 所 川崎区役所7階第1会議室

出席者（敬称略）

委員 6人

星川孝宜、藍原晃、島田潤二、朴栄子、宮崎とみ子、吉野智佐雄

1 開 会

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影の事務連絡一覧を資料にまとめたことを説明、出席者の紹介>

2 議 題

（1）課題解決に向けた取り組みの具体化について

部会長 課題解決に向けた取り組みの具体化について、「防災訓練への外国人市民や障害者などの参加促進」について、大島地区の町内会連合会で防災訓練を11月に開催していただくことになっています。そのあたりについて説明していただき、要望事項などありましたら検討したいと思います。

委員 お手元にお配りしてあるのは17年に連合でやったときの内容です。今までは日本語だけでしたが、5カ国語ぐらい入れて回したらいいのかと検討を今しています。

このときは、7時45分に東京湾で震災が起き、8時10分に住民に避難命令を出して、9時までに向小学校に避難してくださいと行ったわけです。受付を設けて、各まちから今何人避難してきましたと把握しました。

訓練の内容は、水消火器による消火訓練、バケツリレー、第4分団のミニポンプによる放水、ジャッキによる救出、担架による搬送、心肺蘇生法、煙体験、起震車の体験、仮設トイレの組み立て、アルファ米を使った炊き出しです。

10月4日の運動会が終わってから内容を検討することになっていますが、これはどんなことをしたのでしょうか、と質問があればお答えします。

部会長 開催期日は11月29日、9時から正午ですか。

委員 そうです。

部会長 場所は前回同様向小学校で、訓練の内容とか具体的な実施方法はこれから決める

ので、きょうの協議結果を盛り込んでいただける余地も十分にあると思っています。

外国人市民と障害者の参加の仕方について、意見を頂戴したいと思います。

委員 そのほかに、竹の棒2本と毛布で担架をつくり、寝たきり老人を救助する訓練も個々にしています。

委員 参考までに、私どもでは病院の協力をいただいてトリアージの訓練もしています。これでいいということは決してないですが、何回もやっていくうちに理解の仕方も身についてきています。また、避難するものでリヤカーを用意していただきたいと思っています。最後に病院の先生と消防署の担当にそれぞれ講評していただき、反省点を出して、次回にそれをやっています。

部会長 防災訓練のやり方については、それぞれ情報交換をしてよりよい形でやっていただければと思います。

訓練にコミュニケーションのとれない外国人の方は参加していますか。

委員 言葉のわからない人は余りいませんでした。

部会長 今までは事前に訓練だとわかっている人たちが集まってやっていましたが、その情報から漏れている市民も巻き込んで実施しようというのが今回です。

委員 外国人であろうと何であろうと、実際にけがをしたら我々が救助する側に立っていないといけません。どうトリアージをやっていけるか。その点は来年課題にしようと思っています。

部会長 来年ぜひ取り組んでいただきたいですが、11月29日にそういう機会がありますので、具体案として何か意見はありますか。

委員 大島地区で外国人がどこに住んでいるかはわかりません。ただ、川崎区には日本語学校が3つありますから、そういうところにこういう目的で防災訓練を一緒にやりたいとお願いしに行って、学生に参加していただくのが可能かと思っています。

大島地区とかその周辺に住んでいる外国人への広報は、多言語の大きなポスターをつくって、点々としている食材店に張っていただくとか、インターナショナルの幼稚園とかに声をかけていって、ぜひ一緒にやりましょうとしていくと参加していただけたらと思っています。

事務局 どのように参加を呼びかけるかというお話ですが、それ以前に訓練自体に外国人の方がどのようにかかわっていただけるかを検討していただいたほうがいいのかと思います。

委員 今、J F Eがテクノハブで技術開発のために留学生を入れています。あの人たちの手をかりたらどうですか。

部会長 事務局から、防災訓練に参加するために外国人市民が来られたときに、その方々の取り扱いをどうするのかとお話がありましたが、通常、防災訓練は、その場に集まってから役割が決まるという感じですか。

委員 役割分担は前から決めてあります。

部会長 不特定多数の方が集まったとき、この人たちがどう動くかは、それぞれのリーダーの方がするのですか。

委員 誘導係がいます。大きな災害があったときに、その地区地区で担当役員がいるので、その人たちが責任を持ってその地区をまとめてくれます。

一番大事なものは、人の大切な命をとにかく救ってあげなければいけません。資料の2枚目に西宮の一般市民1000人を助けたのは、隣近所の人がお互いに助け合ったと書いてあります。さあというとき、区役所からの指令を待っていたのでは、皆さん死んでしまいます。隣近所で助け合いをして、そのうちに区役所でもどこからでも連絡が来ます。それには1日、2日かかってしまうので、とりあえずは1日、2日の水と食料はどこの家庭でも用意しておいてくださいと。

寝たきり老人は、災害時に助けてくださいと書いて判こを押しても、区長が助けに来てくれません。地域にいる人がまず助けてやらなければだめです。役所を最初からあてにすることは無理です。地域の人が全部やらなければだめです。それには一番大事な自分を助けなければだめです。

委員 行政が来るまでの1～2日を限定して、この範囲で我々はやるということです。長が連絡等を任せてくださいよと一言言っておさめておかなければいけません。

委員 そこまでのことは地元がやらなければだめです。

委員 風聞が怖いです。今、我々ができることはこの1～2日のことですよと行って、初めてこれをやるのがいいです。

事務局 今回行われる訓練は、各訓練のパートパートに責任者の方がいて、一般市民はそこに参加すれば、その責任者の方が教えてくれるということでしょうか。

委員 それぞれのまちで班長ができていて、その人が誘導してきます。

事務局 外国人の方が来たときにそこで訓練に参加できるのかどうかということです。責任者がいて指示をしてくれるのであれば、外国人の方も通訳がいれば参加できるし、それが難しいということであれば、訓練自体を見学していただく形になるのではないかと思います。その辺をどうするかを決めていただいたほうがいいのではないですか。

委員 避難人数とかそういうところへは、ほかの地域から来る外国人は入れないと思いますが、受け付けをすることは可能だと思います。具体的な訓練については、一緒に参加して体験することが外国人にとっても大切だと思います。

委員 外国人がどこの町会にいるとか関係なく、取り残される状況をつくってしまったほうがいいです。そうすると、責任者が行って、確認をとって、あなたはもうこっちだと言って、そういうふうな誘導の仕方を逆にすればいいと思います。

委員 外国人向けの受け付けのできる人も用意しなければだめです。

委員 大島地区以外の外国の方、また障害を持っている方を受け入れていただく体制づくりがまず1つだと思います。

過去に自分の町会では、連合のところで何に参加するか券を配布されたことがありました。そうすると、行ってもそれがないとできません。もしそういうのがないのであれば、体験をしていかないとわからないことがあるので、行ったときに体験させていただくスタンスをつくっていただきたいです。

委員 体験させる場合にある程度話のできる人も用意しておかなければいけませんが、それはできると思います。

部会長 整理すると、外国人向けのPRは朴委員が言われたようなあたりに声かけをし、集合は向小学校ですと案内をする。当日参加された方は、指導に基づき防災訓練に参加

できるような仕組みづくりをお考えいただけるということによろしいですか。

委員 外国人向けの受付をつくるには役所から派遣してもらわないといけません。

事務局 役所から派遣なのか、朴さんのほうのご協力をいただくか。

委員 とにかく窮屈な思いをされる1日か2日だけのことをしっかりやって、役所のこういう人のところですぐ対応しますと責任者がその人に言って納得させる。恐怖感を与えないで話を進めるやり方をすることが大事だと思います。

委員 外国の方が自分の住んでいるところの避難場所にきちんと行けるようなスタンスに持っていくのが将来的な避難方法だと思います。今回、大島地区がやっていただくのに参加をさせていただくのが区民会議でお力をいただくところの部分だと思います。

委員 今、川崎区では6カ国語に翻訳することがすごく多いです。実際には6カ国語以外の方たちもいて、優しい平仮名で書く日本語でいろいろと表示したりもしています。コミュニケーションは言葉だけではなくて、ボディーランゲージもあるし、目で物を言ったりもあります。どうしても困ったときは通訳が駆けつけるようにして、とりあえず外国人と障害のある人たちと一緒にやってみて、何が困るのかお互いに経験するという形でいけばいいと思います。

委員 災害はどのぐらいのものを考えているのか。市役所通りに一般自動車はもう走らせないぐらいの大災害を想定するのであれば、例えば、赤い帽子の人は誘導係、青い帽子の人は何々係、それを日本人がやっているところを見学しているだけでも随分違うのではないかと思います。大災害になればなるほど、細かい役割分担は余り役に立たないような感じです。ポイントだけ決めておいたほうが良いような気がしました。

委員 訓練は大きな災害が来たときのことを思ってやります。

委員 大きな災害では、受け付け業務は緊急3日間に必要なかどうかだと思います。

委員 必要です。受け付けがなければ、だれが来ているかわかりません。外国人も受付へ来てまごつかないように、話ができる人も受付に来てもらわないとこの訓練ができません。

委員 きのう日本へ来た人がそういうことに遭ったとき、何か服装で特色をつけてどんな服装のところへ行けばいいのかとしたほうが良いと思います。

委員 受付を見つけることができるかどうかもやってみないとわからないと思います。大きな災害のときに、どこに逃げるかは事前に防災マップを渡しておく方法があると思います。外国人向けに防災フェアを3年ぐらいやっていますが、外国人の方たちは水消火器も使ったことがなかったりしているので、訓練で経験しておくことで本番のとき役立つこともあると思います。経験しないまま災害に遭ってしまったら、もっとパニックになると思います。

委員 余り役割分担するよりは、目印のとおり動けば、何とか助かるというのを見せたほうが相当の訓練になるのではないと思います。あの帽子をかぶっている人が次を誘導してくれるという感じのほうが現実的なのではないと思います。

部会長 話が訓練のやり方に終始していますが、やり方は話し合う必要はありません。今まで参加していなかった外国人市民をいかに参加させるか、その会場に集まった方々にどう対応していただけるか、について検討したいと思います。

委員 訓練そのものの役割分担ではなくて、日本人のやっているのを見学でも良いと思います。

委員 各学校区で防災連絡組織機能を持っているので、どうしてもそこから入っていくわけです。すべてそこから情報をいただいて、それをどう行政につなぐかまである程度地域では任されています。ある程度そういう本部は体制的にとっておかないと、責任がとれないという判断がどうしても出てしまいます。

委員 結論を言うと、日本人が訓練するところを見せるだけでも全く違うのではないかという感じはします。

委員 この訓練は、来て見るとわかるように、8町内が全部違うカラーのジャンパーを着ています。訓練は町会長が頭で行います。

事務局 外国人の方のかかわり方を整理していただきたいと言っただけであって、見学したほうが良いと言っているわけではありません。もう1つは、なぜつながり部会で議論をしているのか。この防災訓練を通じて、外国人の方や障害を持っている方と地域の方

がつながることが主眼だと思います。

部会長 防災訓練の内容は全く触れないようにしましょう。ああしたい、こうしたいというのがあったら、地元でやってください。訓練の内容は大島地区にお任せなのです。

委員 この訓練は大島に任されたので、大島がやるようにやりますから、皆さん来て一緒にやってくださいでいいと思います。外国人が来たときにどういうふうな対応ができるのかが問題です。

副区長 今聞いていると、最終的に参加の仕方は体験型になると思います。通訳者は災害時いないと思うので、お互い体験して、何でコミュニケーションがとれるかを学んでいけばいいと思います。皆さん言っていることは、最終的には同じなのかという気がしました。

部会長 災害のときに、通訳者が飛んでくるわけではないので、通訳者は無理して集める必要はさほどないと。

副区長 何が困っているか知るために通訳は最低何人かは必要です。

委員 訓練内容がわからないと困るので、そういう通訳ぐらいいはいたほうがいいと思います。

副区長 見本を見てからやるとか、やり方はそれなりにいろいろあると思います。

委員 障害のある人でも言葉が通じない方もいるので、そういう意味ではみんな同じだと思います。言葉のわからない方は当日行ったときに本当に困ってしまうので、例えば、ここはAEDのところですかそういうコーナーだけでも教えていただければ、事前に多言語にしておくお手伝いはできます。その相談だけはさせていただけると、当日が少し楽という気がします。

委員 区役所の中には外国人何とか課はないですか。

副区長 小杉の国際交流センターの中にしかないです。区役所でも外国語では案内していますが、専門の課はないです。

部会長 まとめに入ります。外国人市民に対する案内は、朴委員が具体的に言われたような方法でしていただく。大島地区町内会連合会では当日受け入れできるような体制を整えていただく。初めてのことなので、いろいろな問題が生じると思います。それが次回への課題となって生きた情報になります。気づいた点をまとめておいていただくと、ほかの町会とか、その後防災訓練をやるところにも参考になると思います。

委員 ここに講評を入れたらどうですか。

部会長 防災訓練のやり方についてご意見のある方は、ぜひアドバイスをしてあげてください。

それでは、議題を「かわさき再発見！旧東海道川崎宿ウォーキングツアー」に移します。まず、本日決めていただくことを最初に申し上げます。4「実施内容」のNo.2で、1団体15分程度で川崎区内で活動している団体に事業紹介をしていただければどうか。「この団体がいい」というところがあったら、この場でご推薦していただきたい。ただし、団体は新規会員を募集していることがまず大事です。それと、映像で訴えろとか、パワーポイントを使うとか、できればそういうプレゼンテーションができる団体であってほしいと思います。同じような団体が並んでもしょうがないので、毛色の変ったものを4つ集めたいと思います。

No.3は我々区民会議の活動を当日参加された方に紹介したいと思います。市のアンケート結果では、区民会議は19%の認知度でした。せっかく活動しているので認知度を高めていきたい。30分ぐらいしか時間がとれませんが、何をどういう形で紹介したらいいかのご意見をいただきたいと思います。

事務局で追加説明は何かありますか。

事務局 特にありませんが、この場で団体が思い当たらないということであれば、持ち帰って来月の頭ぐらいまでに連絡をいただければ、取りまとめた上で団体と交渉していきたいと考えています。

委員 ツアーコースは17カ所ですが、いろいろな年代の方がいらっしゃるの、実験的にやると、かなりすすすすすす歩いている感じです。

事務局 コースについては、後で事務局と調整させていただければと思います。

部会長 地域活動団体の紹介ですが、一押しのところがあれば教えてほしいです。参加者は今まで地域活動を余りしていない方です。何か自分が地域貢献したいとか、リタイア

後、何かしたいという思いの方が比較的多いと思いますので、区内にはこんな活動をしている団体があると、紹介したくなるようなところはありませんか。

委員 小田のまちづくりは、小田公園の再開発にも手をつけていますし、1月には新春のお楽しみ会とか、打ち水とか、そういうふうなイベントも結構組んでいますのでどうですか。

事務局 小田地区以外のところに住んでいる方でも構わないのですか。

委員 参加できます。

委員 私たちの地区でもそういう活動をできないかと参考になるでしょう。

委員 教育文化会館とか大師プラザを利用してサークル活動をしているところがあります。教文さんの力をかりてそういうところの中から大きな団体を教えていただくというのはどうですか。海風の森のように、もっとダイナミックな活動をされているところは今ぴんどこないです。

部会長 例えば「海風の森」も候補の一つかと思いますし、教文とか社会教育施設の中で活動している団体も対象になるでしょう。

委員 教文とかでやっているところは地域限定は多分ないと思います。恐らく縛りが無いと思います。

副区長 皆さんはどういう視点のところを選ぶと入りやすいでしょうか。

委員 もし毎年続けていくのだったら、社会貢献のところ、趣味的なところと4つぐらいの大きなグループ分けをして、そこから1団体、どうですかと声をかけていく方法もあると思います。

委員 田島地区福祉のつどいが10月17日、18日にありますが、皆さんに聞いてもらおうとなると音楽です。毎年続いているのんべーずというグループがあります。奉仕団体みたいなもので、活動紹介という意味であれば出せる部分ではないですか。

部会長 今この場では出ない方もいらっしゃると思いますので、10月9日までに提案をし

ていただければと思います。プレゼンテーションがそれなりにできるところ、映像などをもち得ているところだとよりいいと思いますので、そのあたりで選ばせていただければと思います。

次は、No.3、川崎区区民会議の活動紹介は30分程度の枠の中でどういうふうに紹介したらいいとお考えですか。

委員 例題に書いてあるのはどうですか。

部会長 見せるという意味では、カラーリングのビデオ上映ですね。

委員 この間、市政だよりに貸し出しをしますと出たので、職場的に子どもが関係するところなので1週間借りて、文化センターでやりました。そういうふうなところの映像もいいです。

委員 聯合会の町会はまだ話だけです。一遍見せてください。

委員 模範演技より笑いを誘い出すような珍ゲームのほうが見ている人がおもしろいですね。

事務局 区民会議の活動紹介は30分程度で、つながり部会だけではなくて、エコ部会の活動も紹介していただかないといけないと思いますので、15分程度ぐらいです。

部会長 エコ部会にも、こういった時間枠があるので使ってくださいと投げかけはします。

つながり部会として、外国語の携帯の案内はご存じない方もまだ多いので、ぜひPRの時間をつくりたいです。15分の枠で2つできるかどうかという問題もありますが、エコ部会とも相談しながら、活動紹介していくことにしましょう。

事務局 資料2のチラシは事務局が作りましたが、ここはこういうふうに直したほうがいい等、何か提案があれば、団体の紹介にあわせてご意見をいただければと思います。

委員 地域活動団体紹介は4団体がやりますが、皆さんチラシをつくっているのでも、それをどこかに展示できるような場所をつくれば、お弁当を食べながらいろいろな活動を知ることができると思います。この日にチラシで自分たちの活動紹介をしたいところは、いつ、どこまでに持ってきてくださいと一文入れると、1枚のチラシで全部できると思います。

委員 70人と参加者が決まっているので、チラシを置けば、みんな1枚ずつは持って帰れます。それもおもしろいです。

事務局 各団体を抱えている所管課もありますので、そこを通じてお話をさせていただく方法もあります。その辺は事務局にお任せいただけるということによろしいですか。

— 全委員合意 —

部会長 各団体への連絡は、事務局を通して各所管からしていただくことになりました。先ほどの、展示での参加という案は非常にいいと思います。各地域活動団体の紹介は発表が4団体程度、展示参加もオーケーです。資料2のチラシに加筆修正等ありましたら、10月9日までに事務局までご連絡いただきたいと思います。

参考2は、ある意味で先送りになっていた課題、解決策です。これをこのままにしておくわけにはいきませんので、一度再検討して、この解決策なり具体的な内容を含めてどうするのか。我々の任期は実質的に3月ぐらいまでですので、できるもの、できないもの、今後の課題にするものなど、ざっくばらんにご意見をいただきたいと思います。

事務局 この内容について意見をいただくことになると、10分では厳しいという気もします。したがって、次回までに皆さんで考えてきていただければと思いますが、いかがでしょうか。

部会長 そのようにさせていただきたいと思います。きょうは問題提起だけさせていただいて、次回の部会でどう対応するか検討したいと思います。

(2) その他

部会長 事務局から「インターコムかわさきく」と環境エコ部会について報告をお願いします。

事務局 「インターコムかわさきく」について、来年度に向けてタガログ語を1カ国語ふやしていただけるような話がありますので、拡充する方向で考えています。

環境エコ部会の報告ですが、「緑のカーテン」シンポジウムが高津区役所で11月7日土曜日、2時から5時まで予定されています。区民会議の提案で区役所と海風の森が実施した内容をパネル展示等したいと話がありましたので、もしお時間がある方は見に来ていただきたいと思います。

部会長 ご都合のつく方は、エコ部会が参加されるそうなので、ぜひ出席していただければと思います。

前回、「課題解決の実効性を高める部会を編成します」というお話をさせていただいて、この部会からは、3名が参加することになりました。荒井副委員長が部会長で、環境エコ部会からも3名に参加いただき、7名体制で部会を運営しています。

1回目は8月20日に行い、部会名をどうするか、検討の方向性などについて議論しました。

2回目は9月11日に行いました。2期目を迎えている区民会議ですが、的確な地域課題を選んでいるのか、選んだ後の審議を十分尽くしているのかとか、むしろ区民会議そのもののあり方みたいなものを検討していきたいと考えています。委員の選任方法が今の割り振りでもいいのか、いろいろな地域活動団体との連携をどう深めていくのか。一番議論の中心になったのは、区民会議の認知度を向上させようという点でした。いろいろな場で区民会議を訴えていくことが必要ではないか。イベント会場で区民会議のコーナーを設けたりする。10月30、31日、11月1日の市民祭りでコーナーを設けてチラシを配る。具体的な活動としては、PR用のパネルをつくって、区民会議はこんなことをやっていますと案内をする。地域住民の声を拾うアンケートのとり方についても、区民会議委員手づくりのアンケート案をつくってみようと作業もしています。

任期終了までに、何をどこまでできるか定かではありませんが、実効性を高めようという部会です。

今、エコ部会とつながり部会と2つある中で、余り連携がとれていないという意見も一部委員からありました。部会は分かれましたが、決して縦割りでエコ部会のことを知りませんということではなく、また、どなたもそんな思いは持っていないと思います。3つの部会が一つになって区民会議を動かしているとの考えで取り組んでいただければと思います。

次回の部会の日程について検討したいと思います。

11月20日にウォークラリー、29日に防災訓練があります。その前に開くことによって、2つの活動の内容がきょう以上に詰まってくるということで、11月20日の前あたりに開ければと思います。一方、2つの事業が終わると、その事業の振り返りの場も必要です。全体会議は12月の初めですか。

事務局 全体会議を12月初旬から、中旬頃に予定していますが、議会との関係もありますので、現在検討中です。

部会長 全体会議の前に報告会として部会を開きたいと考えていますが、よろしいですか。

委員 全体のはいつごろあるのですか。

部会長 12月の初旬もしくは中旬ですが、初旬では、報告会としての部会が開催できません。とりあえず、2つの事業の前に直前情報を得るため、11月20日以前に部会を開催したいと思います。

事務局 振り返りについては、またそのとき決めればよろしいと思います。

〔日程調整〕

部会長 では、11月11日18時30分からにします。

最後に副区長からごあいさつをいただきたいと思います。

副区長 熱心なご討議、どうもありがとうございました。川崎区の特徴が出ている高齢者と、外国人が多いという計画のイベントがだんだんと実行計画で具体化します。皆さんにご苦労をかけますが、どうぞよろしくお願ひします。

3 閉 会

部会長 どうもありがとうございました。

午後 8時31分 閉 会